

第6節 多様な生活ニーズに応え安心した生活を支える仕組みづくり

(1) 生活情報ネットワーク形成プロジェクト

4市圏の誰もが利用できる生活情報ネットワークシステムの確立

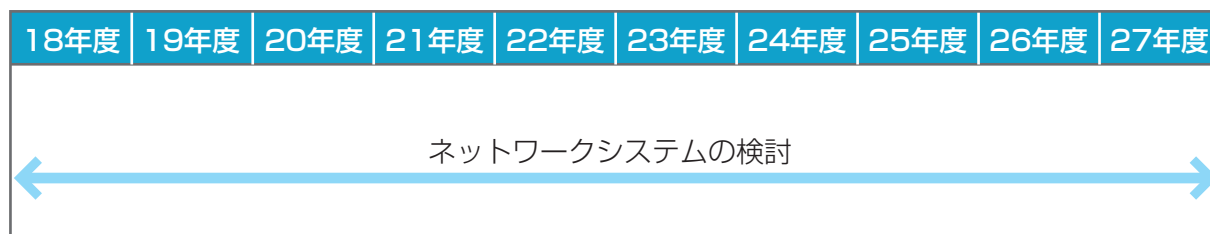
プロジェクトの目的

- 4市の圏内公共施設利用手続きの簡素化や、生活に関わる各種情報提供など4市圏の一体的な広報機能の充実を進め、生活利便性の向上を図る。

プロジェクトの内容

- 既存公共施設（総合運動場、会議室、文化施設、福祉施設等）の利用状況や活動状況等の情報ネットワーク化を図る。
- 情報通信技術の活用により4市圏のどこからでも共通情報を入手したり、利用手続きができるようなシステムづくりを行う。
- 4市圏住民のボランティア活動やリサイクル活動、生涯学習等の情報を効果的に発信するためのシステムとして図書館情報、イベント情報、人材データバンク等の情報のネットワークシステムを検討する。

スケジュール 後期（平成18年度～平成27年度）



役割

(協議会)

- ネットワークシステムの形成の方針検討

(各市)

- ネットワークシステムの検討

(2) 広域行政サービス体制の形成プロジェクト

効率的で質の高い行政サービスを行うための協力体制の強化

プロジェクトの目的

- より高い行政サービス水準を維持し、多様化、複雑化する4市圏住民の要求に応える。
- 埼玉県西部第一広域行政圏、一部事務組合、近隣市町村等との連携、協力に基づき効率的で質の高い行政サービスを行う。

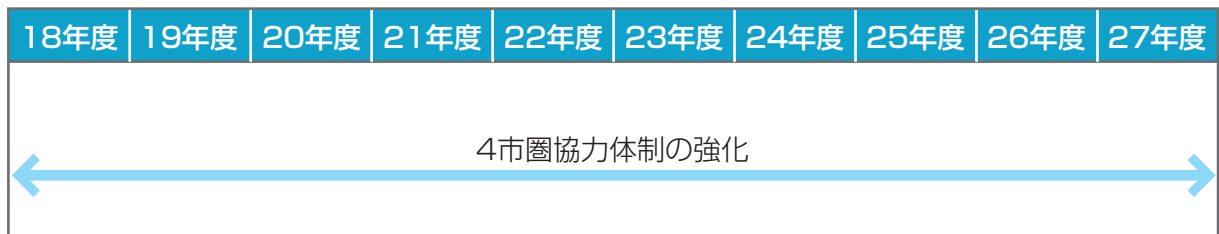
プロジェクトの内容

- 今後ますます需要が高まることが予想される行政サービスについて、埼玉県西部第一広域行政圏、一部事務組合、近隣市町村等と連携、協力して、4市圏全体での効率的、効果的な行政運営を推進し、4市圏住民の要望に応える。

(4市圏で前期に取り組んできた主な行政サービス)

- 公共施設の相互利用
- 災害時相互応援協定
- 4市ガイドマップの作成
- オープンハウスカレッジ
- 子どもサミット

スケジュール 後期 (平成18年度～平成27年度)



役 割

(協議会)

- 4市圏協力体制の方針づくり
- 4市圏協力体制の強化

(各市)

- 質の高い各種行政サービスの検討、研究

(3) 広域防災・消防・防犯体制拡充プロジェクト

複雑化・多様化する都市型災害や多発する犯罪に対応する防災・消防・防犯体制の拡充

プロジェクトの目的

- 4市圏住民の生活様式の多様化、建築物の過密化、高層化、地下利用の拡大、産業の立地拡大等により一層複合化する災害に対する迅速かつ効果的な対応を図り、4市圏住民の安心・安全な生活を確保する。
- 4市圏では、街頭犯罪や住宅への侵入犯罪など都市部で多く見られる犯罪の割合が高く、朝霞・新座警察署や地域の活動と密接に連携しながら、4市圏住民が安全で安心して生活できる防犯体制を構築する。

プロジェクトの内容

- 地震、水害、火災等の災害に4市圏全体の視点から対処するため、以下に掲げる施策等を実施する。
 - 総合治水対策に基づく流域対策等の推進による、荒川・新河岸川とその支流の治水安全度の向上
 - 公園、緑地、街路、河川等の防災機能を有したオープンスペースの体系的な確保
 - 水道、道路、電気、通信、エネルギー等のライフライン施設の防災性強化と協力体制の推進
 - 広域的な避難行動の確立
 - 広域的な災害応急対策が実施できる体制の確立
 - 危機管理体制の強化（国民保護計画）
- 4市圏住民と行政が一体となって、連携のとれた防犯活動のネットワーク化を検討・実施する。

スケジュール 後期（平成18年度～平成27年度）

18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
災害に強いまちづくりの推進									
防災訓練の広域化									
防災応援協力体制の推進									
広域的な避難行動の確立									
広域的な災害応急対策が実施できる体制の確立									
防犯活動のネットワーク化の検討・実施									

役割

（協議会）

- 災害に強いまちづくりのあり方の研究
- 防災訓練の広域化
- 防災応援協力体制の推進
- 広域的な避難行動の確立
- 広域的な災害応急対策が実施できる体制の確立
- 防犯活動のネットワーク化の検討・実施

（各市）

- 災害に強いまちづくり
- 防犯意識の高いまちづくり

(4) むさしのクローバープラン推進体制組織化プロジェクト

むさしのクローバープラン推進体制の管理

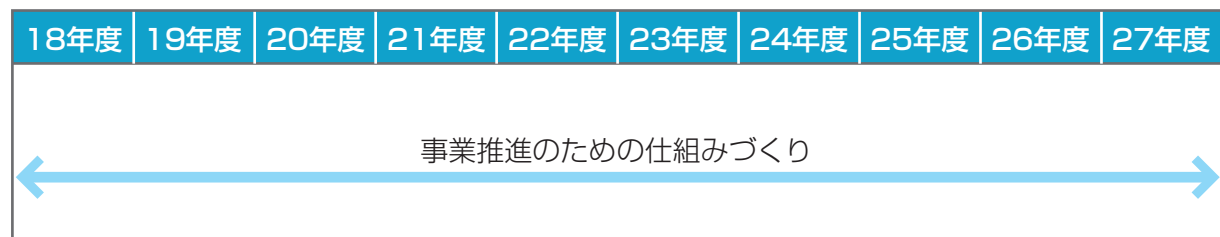
プロジェクトの目的

- むさしのクローバープランの事業を推進するため、国・県・各市・民間などの連携を効率的に図る。
- むさしのクローバープランの推進を図るための進行管理を行う。

プロジェクトの内容

- むさしのクローバープランでは、4市が共同で行う事業、各市が独自に取り組む事業、関係機関や団体、あるいは国や県との連携を図っていく事業について、4市圏の一体的、円滑な整備を推進していくための仕組みづくりを検討する。

スケジュール 後期（平成18年度～平成27年度）



役 割

(協議会)

- 4市圏の一体的、円滑な整備を図っていくための仕組みづくりの検討
- 各事業主体との連携、調整
- 事業推進のための仕組みづくり